

## 旅のおもひで —記念スタンプ帳あれこれ—

旅の楽しみの一つに、思い出作りがあります。道中で色々な人と交流したり、土産として各地の特産品や趣味の品を買い求めたり、写真を撮ったり、食べ歩きをしたりと、その方法は人によって様々でしょう。

スタンプ帳に観光名所や鉄道の駅などに置かれたスタンプを記念に捺して保存するのも、そういった旅の思い出作りの一つです。

本展示では、当館所蔵資料の中から主に昭和戦前期の記念スタンプ帳を紹介します。

※途中で展示部分を替えます。

### ① 【スタンプブック】(伊勢参宮)【昭和 14 年(1939)ほか】佐川家文書(大島町) 529

大島郡蒲野村(現周防大島町)在住の佐川家が伊勢神宮に参拝したときのものです。京都の観光地のスタンプもたくさん捺されており、参拝後に足を延ばしたのかもしれない。題箋に「おもひ出乃スタンプ」と記されています。

### ② 【観光記念スタンプ帳】【昭和 11～14 年(1936～39)】劔持家文書 106

都濃郡戸田村(現周南市)在住の劔持家が、長崎・熊本・阿蘇・別府温泉・東京・伊豆などを旅行した際のものです。山口駅のスタンプの図柄は、十字架の中に大内菱(大内氏の家紋)と瑠璃光寺五重塔が配してあります。三田尻駅(現防府駅)のスタンプもあります。

### ③ 【観光記念スタンプ帳】【昭和 11～16 年(1936～41)】劔持家文書 116

都濃郡戸田村(現周南市)在住の劔持家が、松島・日光東照宮・岡山後樂園・香川栗林公園などを旅行した際のものです。松島の瑞巖寺など、名刹の朱印も捺されているのが特徴です。

### ④ 【スタンプブック】(朝鮮旅行)【昭和 8 年(1933)カ】佐川家文書(大島町) 531

大島郡蒲野村(現周防大島町)在住の佐川家が、朝鮮へ旅行したときのものです。平壤・京城(現ソウル)・大田・大邱などを訪れています。朝鮮の風俗を描いた図柄のスタンプも少なくありません。

### ⑤ 集印帳 【昭和 13～16 年(1938～41)】和田敏英収集史料 583

大連在住の和田家が、当時の満州国などを主に満州鉄道で旅行したときのものが中心です。「昭和」と満州国の元号「康德」が混在しています。また、<sup>はるびん</sup>哈爾濱埠頭区のスタンプの図柄には、正教会とキリル文字が使っており、当地がかつてロシア統治下にあったことをうかがわせます。

### ⑥ 下関観光スタンプ【昭和戦前期カ】松田家文書 358

阿武郡篠生村(現山口市阿東篠目)在住の松田家が、下関を観光したときのものです。満珠汗珠・乃木神社・功山寺・住吉神社・忌宮神社・赤間宮・唐戸市場・巖流島など計 15 箇所スタンプが捺してあります。